

2023年のできごと

1月4日 企画展「第26回全国児童生徒地
図優秀作品展」を開催

地図と測量の科学館ほか3会場において、企画展「第26回全国児童生徒地図優秀作品展」を開催した。本企画展は、全国各地で開催されている児童生徒の地図に関する作品展から選ばれた優秀作品を展示するもので、91作品を展示した。また、国土交通大臣賞、文部科学大臣賞の表彰式を1月12日に国土交通省で実施した。

1月15日 令和4年度「ほっかいどう防災ひ
ろば in チ・カ・ホ」が開催

北海道地方測量部は、令和4年度「ほっかいどう防災ひろば in チ・カ・ホ」において、地理院地図、地殻変動、防災に役立つ地理情報、自然災害伝承碑などのパネル展示、モニターで自然災害伝承碑、地殻変動の動画を上映、地理院地図及び自然災害伝承碑のパフレット配布を行った。

1月24日 「令和4年度 地理空間情報産学
官中部地区連携協議会」を開催

中部地方測量部は、「令和4年度 地理空間情報産学官中部地区連携協議会」を開催した。会合では、三次元地理空間情報の利活用に関する取組を議題とし、意見交換及び情報共有を行った。本協議会には対面及びオンラインで33名の参加があった。

1月25日 第14回地理空間情報に関する北
海道地区産学官懇談会を開催

北海道地方測量部は、「第14回地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会」をオンライン形式で開催した。本懇談会では、「地理教育」をテーマに2つの話題提供が行われ、意見交換を行った。

1月27日 令和4年度 地理空間情報の活
用等に関する関東地域連携協議
会を開催

関東地方測量部は、関東地域において産学官が地理空間情報に係る課題の認識と情報の共有を図り、地理空間情報の効果的な整備・更新・活用を推進することを目的に「令和4年度地理空間情報の活用等に関する関東地域連携協議会」を学・官・産の構成員27名とオブザーバー16名の出席により開催した。今年度は、「DX時代の地理空間情報」をテーマとして、関連した講演、質疑応答と意見交換を行った。意見交換では、事前提供いただいた地

方自治体の構成員の取組事例を紹介いただき、講演と併せて、全庁横断的なGIS利用に向けた課題や市民協働による利活用へ向けた仕組みなどを論点として、意見交換を行った。

2月3日 「地理空間情報活用推進に関す
る福岡産学官連携セミナー」及び
「令和4年度地理空間情報活用
推進に関する九州地区産学官連
携協議会」を開催

九州地方測量部は、地理空間情報活用推進基本法に基づき、九州地区における国、地方公共団体、関係事業者及び大学等研究機関の相互連携による、地理空間情報の効果的な活用を推進するため、福岡産学官連携セミナー及び九州地区産学官連携協議会を開催した。

国土交通省で進められているプロジェクト『PLATEAU(プラトール)』についての講演と、地理空間情報とDXをテーマとして福岡地域の産学官による地理空間情報活用事例を紹介し、地理空間情報の高度活用社会と課題について議論を行った。

2月7日 「地理空間情報活用推進に関す
る近畿地区産学官連携協議会第
9回総会」を開催

近畿地方測量部は、地理空間情報活用推進に関する近畿地区産学官連携協議会第9回総会を対面及びオンライン形式で開催した。各機関からの地理空間情報関連の取組報告について、意見交換や情報共有が行われた。

2月11日 「地図と防災パネル展」

北陸地方測量部は、富山県広域消防防災センター(富山県富山市)において開催された「ジュニア防災フェスティバル」に参加した。「地図と防災パネル展」と題し、地理院地図、国土地理院の災害対応、自然災害伝承碑の取組などを紹介するパネルの展示等を行った。来場者は約2,000名で多くの方に地図に親しんでいただけた。

2月27日 令和4年度国土地理院総合評価
委員会を開催

関東地方測量部において、令和4年度国土地理院総合評価委員会を開催した。本会議では、令和4年度における測量業務の総合評価落札方式による実施状況及び令和5年度における測量業務の入札・

契約手続の実施方針（案）について審議が行われた。

2月27日 令和4年度 東北ブロック地理空間情報産学官地域連携協議会を開催

東北地方測量部は、「令和4年度 東北ブロック地理空間情報産学官地域連携協議会」を開催した。協議会はWEBと対面のハイブリット形式で開催し活動方針の審議や、外部機関からの話題提供がされた。意見交換においては人材育成に関する報告等を踏まえ課題認識の共有化が図られた。

2月28日 我が国の島を数えた結果を公表

国土地理院が維持管理する詳細な電子国土基本図を用いて、我が国の島を一定条件の下で数えた結果、14,125島となったことを国土地理院として初めて公表した。

2月28日 第238回地震予知連絡会を開催

第238回地震予知連絡会を国土地理院関東地方測量部においてWeb会議併用形式にて開催した。全国の地震活動、地殻変動等のモニタリングについての報告が行われ、その後、重点検討課題として「人工知能による地震研究の深化」に関する報告・議論が行われた。

3月7日 令和4年度国土地理院コンプライアンス・アドバイザリー委員会を開催

国土地理院本院において、令和4年度国土地理院コンプライアンス・アドバイザリー委員会を開催した。本委員会では、令和4年度国土地理院コンプライアンス報告書(案)及び令和5年度国土地理院コンプライアンス推進計画(案)について、報告及び審議が行われた。

3月8日 第28回測量行政懇談会を開催

第28回測量行政懇談会（委員長：浅見泰司 東京大学大学院教授）を関東地方測量部において対面及びWEB会議の併用で開催した。本懇談会では、「次期基本測量長期計画の骨子案」、「流通・活用制度部会の活動報告」ほか4つの報告に基づき議論された。

3月16日 「空中写真の管理に関する懇談会」の開催

関東地方測量部において空中写真の管理に関する懇談会を開催した。国土地理院が保管・管理している約120万枚のフィルムの管理、データ提供の

あり方等について外部有識者で構成する懇談会を設置し、空中写真フィルムの管理と空中写真データの提供と活用に関する検討を開始した。

3月21日 企画展「のぞいてみよう「地理教育の道具箱」」を開催

授業にも使用できる防災地理情報を利用した資料の作成手法や新しいコンテンツなど、それぞれの学習段階に応じて紹介した。また、国土地理院が行っている防災・地理教育支援に関する各種取組についても紹介した。

3月23日 令和5年1月1日時点の全国都道府県市区町村別の面積を公表

日本の国土の面積を取りまとめた「令和5年全国都道府県市区町村別面積調」（1月1日時点）を公表した。

3月28日 だいち2号による全国の変動分布図を初公開

測量の基準（国家座標）の維持管理や地盤沈下調査等に活用するため、だいち2号の8年に及ぶ観測データを用いて干渉SAR時系列解析を実施し、この解析により得られた全国の変動分布図を初めて公開した。

3月31日 作業規程の準則を一部改正

近年の「UAVレーザ測量」、「車載写真レーザ測量システムを用いた三次元点群測量」、「航空レーザ測深測量」などの測量技術の普及状況等をふまえて、公共測量の標準的な作業方法を定める「作業規程の準則」を改正した。

4月28日 電子地形図50000の提供開始

電子国土基本図などからの自動処理を活用して作成した縮尺1/50000の電子地形図として、「電子地形図25000」「電子地形図20万」に次ぐ3種類目となる「電子地形図50000」のインターネットによる提供を開始した。

5月1日 第3回国連地名専門家グループ～5月5日 会合に出席

ニューヨークの国連本部で第3回国連地名専門家グループ(UNGEGN)の会合が開催され、政府代表団の一員として国土地理院から笹川啓地理情報解析研究室長、早坂寿人基本図課課長補佐が出席した。本会合では5日間の会期中に、全22の議題に対して議論が行われ、最後に決議事項の採択とUNGEGNにおける次期議長・副議長等が選出された。また、本会合では各国、地域・言語部会、WG

等からおよそ 140 本のレポートが提出され、国土地理院からは、「日本における地名標準化(議題 4a: 加盟国の政府の状況と地名標準化における進捗)」「地名標準化国際シンポジウムについて(議題 4d: 国及び国際的な会合と会議)」「多言語表記の地図の継続更新について(議題 14: 地名データ管理)」()内はそれぞれのレポートに対応する議題名である。)の3つのレポートを提出し、各々の議題のセッションにおいて発表及び質疑等への対応を行った。

5月6日 令和5年5月5日の石川県能登地方の地震活動に伴う地殻変動

5月5日に石川県能登地方で発生した地震活動(最大の地震は14時42分頃、M6.5、深さ12km、最大震度6強)について、電子基準点及び可搬型GNSS連続観測装置(REGMOS)によって地殻変動を観測した。

5月10日 第56回ISO/TC211総会に出席～5月19日

韓国・全州市及びWeb会議の併用(ハイブリッド形式)で開催された国際標準化機構の地理情報専門委員会(ISO/TC211)第56回総会に、国土地理院から日本代表団として笹川地理情報解析研究室長他3名がオンラインで出席した。

5月16日 2023年度「日本火山学会論文賞」を受賞

EPS(Earth, Planets and Space)誌に掲載された「Modeling long-term volcanic deformation at Kusatsu-Shirane and Asama volcanoes, Japan, using the GNSS coordinate time series.」(著者 宗包浩志地殻変動研究室長)が、2023年度日本火山学会論文賞を受賞した。

5月21日 令和5年測量士・測量士補試験を実施

全国14箇所の試験地(18会場)において、令和5年測量士・測量士補試験を実施した。受験者は、測量士3,667名、測量士補13,480名であった。令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に変更されたことから、マスク着用等の取り組みは受験者の判断に委ねつつ、各試験会場ごとの貸し付け条件等で求められた対策を講じ試験を実施した。

5月24日 航空機による重力値の測定(航空重力測量)が完了

令和元年度から4年間にわたって実施してきた航空機による重力値の測定(航空重力測量)が完了

した。これは、近代測量開始から150年の間行ってきた水準測量に加え、衛星測位で迅速かつ容易に標高を求める手法を確立することで、標高決定手段を目的や用途に合わせて選択できる社会を目指す施策の一環として実施していたものである。今回得られたデータを基に、全国の標高基準を構築する。

5月24日 日本水準原点を一般公開

関東地方測量部は、我が国の土地の高さの基準となっている日本水準原点の一般公開を開催した。水準原点標庫の開放や水準測量に関するパネル展示のほか、電子基準点「東京千代田」の紹介を行った。

5月28日 令和5年度吉野川総合水防演習に参加

四国地方測量部は、令和5年度吉野川総合水防演習において、被災状況調査訓練に参加し、測量用航空機「くにかぜII」による緊急撮影について映像で紹介した。また、自然災害伝承碑や浸水推定図、地理院地図などを紹介するパネル、会場周辺のデジタル標高地形図、南海トラフを含む四国地方の陰影段彩余色立体図などの展示を行い、徳島県知事をはじめ、多くの訓練参加者や見学者の方々にご覧いただいた。

5月29日 令和5年5月22日の新島・神津島近海の地震活動に伴う地殻変動

5月22日に新島・神津島近海で発生した地震活動(最大の地震は14時42分頃、M5.3、深さ11km、最大震度5弱)について、電子基準点によって地殻変動を観測した。

5月30日 ハザードマップポータルサイトのリニューアル

全国の災害リスク情報や防災に役立つ情報をまとめて閲覧することができる「ハザードマップポータルサイト」のリニューアルを行った。「重ねるハザードマップ」で住所入力や現在地検索するだけで、その地点の災害リスクや災害時にとるべき行動が文字で表示される機能を追加した。文字で表示されることにより、音声読み上げソフトを使用すれば視覚障害者の方にも利用可能になるなど、Webアクセシビリティに配慮したリニューアルであった。

5月31日 第239回地震予知連絡会を開催

第239回地震予知連絡会を国土地理院関東地方

測量部において Web 会議併用形式にて開催した。全国の地震活動、地殻変動等のモニタリングについての報告が行われ、その後、重点検討課題として「群発地震」に関する報告・議論が行われた。

**6月1日、第52回国土地理院報告会を開催
6月8日
～6月30日**

日経ホール（東京都千代田区）において第52回国土地理院報告会を開催した。また、6月8日（木）から6月30日（金）の期間で、講演をオンデマンド配信した。国土地理院からの報告のほか、東京大学名誉教授の平田直氏から特別講演いただいた。本報告会には205名（会場）、最大1097名（オンデマンド配信動画の最大視聴回数）の参加があった。

6月1日 古地図コレクションで「震災地応急測図原図」「大正十二年関東震災地垂直変動用図」を公開

関東大震災から100年経過の節目に当たり、古地図コレクションで「震災地応急測図原図」「大正十二年関東震災地垂直変動用図」を公開した。

6月2日 拡大する硫黄島の地図を更新

近年大きな隆起が観測されている硫黄島について、令和4年1月26日撮影の空中写真及び現地測量結果をもとに、海岸線や等高線を含め地図を全面的に更新した。

更新した地図は、6月2日から、地理院地図、電子地形図25000、数値地図（国土基本情報）でオンライン提供した。また、標高の基準面であるジオイドについても、硫黄島周辺を加えた「日本のジオイド2011」（Ver.2.2）として公開した。

6月2日 富山市立神保小学校で「地図教室と測量体験」を開催

北陸地方測量部は、「測量の日」関連行事として富山市立神保小学校の5年生42名を対象に、（一社）富山県測量設計業協会と協力して「地図教室と測量体験」を実施した。地図教室では、小学校周辺の地形図等を表示し、地図表示のルール、地図記号の変遷や地図記号のクイズ等を交えながら説明を行い、自然災害伝承碑についても説明を行った。

6月3日 第35回「測量の日」記念 地図と測量のミニフェスタを開催

東北地方測量部は、スリーエム仙台市科学館（宮城県仙台市）において、第35回「測量の日」記念地図と測量のミニフェスタを開催し、測量・地図に

関するパネル展示、地図記号クイズや様々な測量体験等を実施した。

6月4日 「測量の日」特別企画～見る 触れる 測る 国土地理院 2023～を開催

国土地理院が提供している様々な地理空間情報を分かりやすく紹介するとともに、こどもから大人まで楽しみながら地図と測量に関する体験ができる企画で、6月3日の「測量の日」にあわせて毎年6月の第1日曜日に開催している。令和5年度の「測量の日」特別企画は、4年ぶりの通常開催とし、科学館の通常開館と測量体験イベントに加えて、本館の関連施設公開等を実施した。

6月5日 愛媛県立上浮穴高等学校で「測量・地図学習会」を開催

四国地方測量部は、「測量の日」関連行事として上浮穴高等学校森林環境科2年生16名を対象に愛媛県測量設計業協会と協力して「測量・地図学習会」を実施した。

四国地方測量部は講義「地理院地図で捉える地域のすがた」を担当し、愛媛県測量設計業協会は地上レーザー測量・UAV測量等による測量実習を行った。

6月6日 「測量の日」記念フェア2023を開催

近畿地方測量部は、（一社）大阪府測量設計業協会、大阪土地家屋調査士会及び（公社）日本測量協会関西支部と共に、大阪合同庁舎第4号館（大阪府大阪市）において「測量の日」記念フェア2023を開催した。本記念フェアでは、第25回近畿地方測量技術発表会及び測量機器・システム展（動画上映）が行われ、170名の参加があった。

6月7日 「くらしと測量・地図展」を開催～6月9日

関東地方測量部は、「測量の日」東京地区実行委員会の事務局として、新宿駅西口広場イベントコーナー（東京都新宿区）において、「くらしと測量・地図展」を開催した。「関東大震災から100年」の特設コーナーやミニ講演会において、測量・地図、防災に関する普及・啓発を行った。

6月7日 高知県立宿毛工業高等学校で「測量・地図学習会」を開催

四国地方測量部は、「測量の日」関連行事として宿毛工業高等学校建設科土木専攻3年生20名を対象に高知県測量設計業協会と協力して「測量・地図

学習会」を実施した。

四国地方測量部は講義「国土地理院の仕事・役割」を担当し、高知県測量設計業協会はGNSS測量機等による測量実習を行った。

6月7日 「測量の日」パネル展を開催

～6月19日

沖縄支所は、「測量の日」沖縄県実行委員会とともに沖縄県立図書館（沖縄県那覇市）において、「測量の日」パネル展を開催した。

6月9日 香川県立多度津高等学校で「測量・地図学習会」を開催

四国地方測量部は、「測量の日」関連行事として多度津高等学校土木科2年生29名を対象に香川県測量設計業協会と協力して「測量・地図学習会」を実施した。

四国地方測量部は講義「国土地理院の仕事・役割」を担当し、香川県測量設計業協会はネットワーク型RTKを用いた測量実習を行った。

6月14日 徳島県立阿南光高等学校で「測量・地図学習会」を開催

四国地方測量部は、「測量の日」関連行事として阿南光高等学校都市環境システム科1～3年生68名を対象に徳島県測量設計業協会と協力して「測量・地図学習会」を実施した。

四国地方測量部は講義「国土地理院の仕事・役割」を担当し、徳島県測量設計業協会は電子平板等による測量実習を行った。

6月15日 令和5年度「測量の日」における功労者感謝状の贈呈

測量・地図に対する国民の一層の理解と関心を高めることを目的として、測量・地図に関する普及・啓発に顕著な功績のあった個人4名、4団体に感謝状を贈呈した。

6月19日 那覇市立開南小学校で「出前講座」を開催

沖縄支所は、「測量の日」関連行事として那覇市立開南小学校の6年生40名を対象に、(一社)沖縄県測量建設コンサルタンツ協会と協力して「出前講座」を実施した。

支所は座学「測量と地図」を担当し、協会は測量機器を使用した体験学習（歩測等）を行った。

6月26日 令和5年度第1回基本政策部会を開催

令和5年度第1回基本政策部会（部会長：布施孝

志 東京大学大学院教授）を関東地方測量部において対面及びWEB会議の併用で開催した。本部会では、「次期基本測量長期計画案」及び「標石基準点（三角点）の今後の維持管理方針案」について議論された。

6月27日 令和5年度「測量の日」記念講演会の開催

九州地方測量部は、「測量の日」関連行事の一環で「測量の日」の普及啓発、測量技術の向上等を目的とし、国・地方公共団体、九州各県測協会員、測量会社及び測量専門学校等を対象に、福岡県中小企業振興センターにおいて令和5年度「測量の日」記念講演会を(一社)福岡県測量設計コンサルタンツ協会と共催で開催した。

6月29日 「空中写真の管理に関する懇談会」(第2回)の開催

関東地方測量部において空中写真の管理に関する懇談会(第2回)を開催した。国土地理院が保管・管理している空中写真フィルム(約120万枚)の管理、データ提供について現状を確認し、今後の管理の方向性について取りまとめを行った。

6月29日 令和5年4月1日時点の全国都道府県市区町村別の面積を公表

日本の国土の面積を取りまとめた「令和5年全国都道府県市区町村別面積調」(4月1日時点)を公表した。

6月30日 第26回中国地区測量技術講演会を開催

「測量の日」中国地区連絡協議会(事務局：国土地理中国地方測量部)は、広島県民文化センター(広島市中区大手町)において、第26回中国地区測量技術講演会を開催した。本公演会は「測量界における変化と担い手の確保・育成」をテーマとし、広島工業大学坂本英輔教授からの特別講演を含め、産学官から3題の公演をいただいた。講演会には183名の参加があった。

7月11日 令和5年測量士・測量士補試験の合格者を発表

令和5年測量士・測量士補試験の合格者を発表した。合格者は、測量士379名、測量士補4,342名、合格率は、測量士10.3%、測量士補32.2%であった。

**7月19日 企画展「関東大震災100年-地図
～10月1日 に残る地殻変動と被災状況-」を
開催**

参謀本部陸地測量部が関東大震災直後の被災状況を調査するとともに、水準測量及び三角測量を実施し記録した測量簿や図面が国土地理院に残されており、各地の標高がどのように変化したかを示した「大正十二年関東震災地垂直変動要図」や、被害状況を調査した「震災地応急測図原図」など、貴重な資料を多数公開した。

**7月26日 令和5年度国土地理院入札監視
委員会総会及び定例会議を開催**

関東地方測量部において、令和5年度国土地理院入札監視委員会総会及び定例会議を開催した。総会では、委員会の運営に関する説明及び委員長・委員長代理の選出等が行われ、委員長に新谷昌人委員、委員長代理に谷本誠司委員が選出された。定例会議では、国土地理院が発注した令和4年4月1日から令和5年3月31日までの測量業務、役務の提供等及び物品の製造等の中から、委員会が抽出した事案についての審議が行われた。

**7月28日 教科書・教材出版社を対象とした
「国土地理院の取り組む教育支
援の説明会」を開催**

平成31年3月に測量行政懇談会地理教育支援検討部会がまとめた「地理を通じて自然災害から身を守るために-災害を知り災害に備えるための地理教育-」の報告書に基づき、教科書・教材出版社を対象とした「国土地理院の取り組む教育支援の説明会」を開催した。

**7月31日 地球規模の地理空間情報管理に
～8月4日 関する国連専門家委員会（UN-
GGIM）第13回会合に出席**

国連本部（米国・ニューヨーク）で開催された地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会（UN-GGIM）第13回会合に、日本政府代表として国土地理院からは大木院長他2名が出席し、議論に参画した。特に、災害のための地理空間情報及びサービスに関する作業部会に関する議題にて、同作業部会の共同議長を務める大木院長が導入説明を行った。

8月11日 「地図と防災パネル展」

北陸地方測量部は、富山県広域消防防災センター（富山県富山市）において開催された「ジュニア防災フェスティバル」に参加した。「地図と防災パネル展」と題し、地理院地図、国土地理院の災害対

応、自然災害伝承碑の取組などを紹介するパネルの展示等を行った。来場者は約1,500名で多くの方に地図に親しんでいただけた。

**8月17日 「まるごと体験！あきたのジオ
パーク」で自然災害伝承碑関連パ
ネル展示などを実施**

東北地方測量部は、秋田県ジオパーク連絡協議会主催で秋田拠点センターアルヴェで開催された「まるごと体験！あきたのジオパーク」において、一般の来場者向けに自然災害伝承碑の取組に関するパネル展示及び地理院地図のコンテンツについて説明した。

**8月29日 令和5年度第2回基本政策部会
を開催**

令和5年度第2回基本政策部会（部会長：布施孝志 東京大学大学院教授）を関東地方測量部において対面及びWEB会議の併用で開催した。本部会では、「次期基本測量長期計画案」等について議論された。

8月31日 第240回地震予知連絡会を開催

第240回地震予知連絡会を国土地理院関東地方測量部においてWeb会議併用形式にて開催した。全国の地震活動、地殻変動等のモニタリングについての報告が行われ、その後、重点検討課題として「関東地震100周年」に関する報告・議論が行われた。

**9月3日 令和5年度香川県総合防災訓練
でパネル展示**

四国地方測量部は、令和5年度香川県総合防災訓練において、国土地理院の災害への取組や地理院地図、自然災害伝承碑などを紹介するパネル、会場周辺のデジタル標高地形図、南海トラフを含む四国地方の陰影段彩余色立体図などの展示を行い、香川県知事をはじめ、多くの訓練参加者や見学者の方々にご覧いただいた。

**9月8日 徳島県松茂町立喜来小学校で「測
量・地図学習会」を開催**

四国地方測量部は、「測量の日」関連行事として喜来小学校4年生40名を対象に徳島県測量設計業協会と協力して「測量・地図学習会」を実施した。四国地方測量部は講義「地図と私たち」を担当し、徳島県測量設計業協会は測量機器を使った測量体験等を行った。

9月13日 令和5年度地理空間情報の活用に関する香川地域連携協議会を開催

四国地方測量部は、「課題解決に向けた地理空間情報の活用～災害対策・業務の効率化・サービスの創出や拡大等～」をテーマに、産（香川県測量設計業協会）、学（香川大学）、官（高松市）から測量・GISに関する技術動向や地理空間情報を用いた最近の取組に関する報告をしていただき、活用事例や課題について意見交換を行った。

9月15日 地図展2023「名古屋の魅力を再～9月20日 発見」を開催

中部地方測量部は、地図展推進協議会と共催で、地図展2023「名古屋の魅力を再発見」を名古屋国際センター（名古屋市）において開催した。国土地理院が2020年に撮影した名古屋市中心部の空中写真（1/3,000）や名古屋市を中心とした明治から現在までの地図の変遷、伊勢湾台風関連の自然災害伝承碑や我が国の島の数などのパネル展示を行った。

9月21日 「明治期の低湿地データ」の整備範囲を大幅に拡大し整備が完了

土地の液状化のしやすさや地盤の緩さとの関連が深い区域を抽出した「明治期の低湿地データ」について、これまで公表していた三大都市圏周辺等に加え、新たに神戸市など35地区のデータを公開し、公開から10年を迎え整備が完了した。

9月21日 香川県三豊市立大見小学校で「測量・地図学習会」を開催

四国地方測量部は、「測量の日」関連行事として大見小学校4年生19名を対象に香川県測量設計業協会と協力して「測量・地図学習会」を実施した。四国地方測量部は講義「地図と私たち」と校内に設置した電子基準点の見学・説明を担当し、香川県測量設計業協会は投げたボールの飛距離を歩測で測り、測量機器を使って自分が求めた距離の確認を行うなどの測量体験を行った。

9月25日 高知県四万十市立中筋小学校で「測量・地図学習会」を開催

四国地方測量部は、「測量の日」関連行事として中筋小学校4～6年生15名を対象に高知県測量設計業協会と協力して「測量・地図学習会」を実施した。

四国地方測量部は講義「地図と私たち」を担当し、高知県測量設計業協会は投げたボールの飛距離を歩測で測り、実際の距離との差を確認する測

量体験を行った。また、UAVの飛行デモンストラーションも行った。

9月27日 令和6年測量士・測量士補試験考査委員会を開催

令和6年測量士・測量士補試験考査委員会（委員長：堤盛人筑波大学教授）を国土地理院関東地方測量部にて開催した。本委員会では、令和5年測量士・測量士補試験実施結果を報告、令和6年測量士・測量士補試験実施計画及び令和6年測量士・測量士補試験問題作成方針を審議、決定した。

9月27日 長町一利府線断層帯とその周辺「松島」など8面の活断層図を公開

平成7年1月の阪神・淡路大震災を契機に、政府の地震調査研究推進施策の一環として、全国の主要な活断層帯を対象に、活断層の詳細な位置や関連する地形の分布等の情報を整備し、「1:25,000活断層図」として公開した。

9月28日 令和5年7月1日時点の全国都道府県市区町村別の面積を公表

日本の国土の面積を取りまとめた「令和5年全国都道府県市区町村別面積調」（7月1日時点）を公表した。

9月28日 自然災害伝承碑が2,000基に到達

自然災害伝承碑26基の追加公開により全国の掲載数が2,000基を超え、2,021基となった。

9月28日 令和5年度地理空間情報の活用推進に関する北陸地方産学官連絡会議（全体会議）

北陸地方測量部は、「令和5年度地理空間情報の活用推進に関する北陸地方産学官連絡会議」をWeb会議形式で開催した。会議は富山大学の大西教授が座長として議事を進行し、地理空間情報の活用推進に関する情勢や地理空間情報を活用した研究・取組についての講演と、北陸地方における3次元データの利活用の状況について意見交換が行われた。

9月29日 愛媛県鬼北町立三島小学校で「測量・地図学習会」を開催

四国地方測量部は、「測量の日」関連行事として三島小学校5～6年生11名を対象に愛媛県測量設計業協会と協力して「測量・地図学習会」を実施した。四国地方測量部は講義「地図と私たち」と校内

に設置した電子基準点の見学・説明を担当し、愛媛県測量設計業協会は体育館に設置したポイントを手作業で測定し作成した地図と、測量器を使って作成した地図を比較する体験を行った。

10月2日 筑西市との協力協定締結

国土地理院と茨城県筑西市は、国と地方公共団体がそれぞれの立場で情報を共有しあうことで行政コストを削減し、行政事務を効率化し、さらに災害対応を円滑に実施できるようにすることを目的として、「地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定」を締結した。

10月11日 令和5年度地理空間情報の活用に関する徳島地域連携協議会を開催

四国地方測量部は、「課題解決に向けた地理空間情報の活用～災害対策・業務の効率化・サービスの創出や拡大等～」をテーマに、産（徳島県測量設計業協会）、学（徳島大学及び鳴門教育大学）から測量・GISに関する技術動向や地理空間情報を用いた最近の取組に関する報告をしていただき、活用事例や課題について意見交換を行った。

10月12日 日本測地学会 2023 年度坪井賞 個人賞及び団体賞を受賞

日本測地学会第140回講演会（宮城県仙台市）において、2023年度坪井賞の授賞式が行われ、松尾功二主任研究官が実施した「人工衛星による重力観測から捉えた地球の質量収支および形状に関する研究—特に陸水変動研究への応用と重力ジオイドモデルの構築—」が個人賞を、「GGOS Japan（代表：大坪俊通（一橋大学）・宮原伐折羅（国土地理院）関係機関：一橋大学・国土地理院・海上保安庁・国立極地研究所・宇宙航空研究開発機構・情報通信研究機構・国立天文台・東京大学）が実施した「全球測地観測システム(GGOS)の Affiliate としての測地学への貢献」が団体賞を受賞した。

10月12日 日本測地学会 2023 年度坪井賞 個人賞及び団体賞を受賞

日本測地学会第140回講演会（宮城県仙台市）において、2023年度坪井賞の授賞式が行われ、松尾功二主任研究官が実施した「人工衛星による重力観測から捉えた地球の質量収支および形状に関する研究—特に陸水変動研究への応用と重力ジオイドモデルの構築—」が個人賞を、「GGOS Japan（代表：大坪俊通（一橋大学）・宮原伐折羅（国土地理院）関係機関：一橋大学・国土地理院・海上保安庁・国

立極地研究所・宇宙航空研究開発機構・情報通信研究機構・国立天文台・東京大学」が実施した「全球測地観測システム(GGOS)の Affiliate としての測地学への貢献」が団体賞を受賞した。

10月13日 「関西 G 空間フォーラム 2023」を開催

近畿地方測量部は、地理空間情報活用推進に関する近畿地区産学官連携協議会の活動の一環として、大阪工業大学梅田キャンパス（大阪府大阪市）で関西 G 空間フォーラム 2023 を共催した。本フォーラムでは、「地理空間情報活用の新たな展開」をテーマに、第42回測量技術講演会、第24回関西地域 GIS 自治体意見交流会、第12回合同パネルディスカッション及び地理空間情報関連の機器・システム等の展示会が行われ、372名の参加があった。

10月24日 領土・主権展示館 地方巡回展 in 首都圏 つくば会場 ～12月17日 領土・主権を考へる 北方領土・竹島・尖閣諸島パネル展 地図と測量による領土の明示パネル展

内閣官房領土主権対策企画調整室との共催によりパネル展を開催した。本パネル展では国土地理院とその前身の機関が継続的に実施してきた、離島の基準点の設置、地形図作成等、測量による国内外への領土の明示及び領土の保全・管理に寄与する取組を紹介した。

10月30日 第29回測量行政懇談会を開催

第29回測量行政懇談会（委員長：浅見泰司 東京大学大学院教授）を関東地方測量部において対面及びWEB会議の併用で開催した。本懇談会では、「次期基本測量長期計画案」、「地理空間情報の活用における個人情報の取扱いに関するガイドライン（測量成果等編）案」等の議事に基づき議論された。

11月1日 G 空間 EXPO2023 が開催（会場～12月10日 開催及びオンライン開催）

G 空間 EXPO2023 が、11月7日から8日に東京都立産業貿易センター浜松町館（東京都港区）で会場開催、11月1日から12月10日にG空間 EXPO 公式サイト（<https://www.g-expo.jp/>）でオンライン開催された。本 EXPO は、地理空間情報活用推進基本計画に基づき、新技術の活用推進、普及啓発を図ることを目的として、国土地理院を含む産学官民連携により開催するもので、会場開催2日間で

1,701 人の入場者、オンライン開催 25 日間で 37,353 のページビューがあった。国土地理院は、業務や技術を紹介するブースを出展したほか、Geo アクティビティコンテスト及び地理院地図パートナーネットワーク会議を主催した。

11 月 6 日 ～11 月 10 日 **国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会 (UN-GGIM-AP) 第 12 回総会及びアジア太平洋地理空間フォーラム (APGF) に出席**

インドネシア・バリで開催された国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会 (UN-GGIM-AP) 第 12 回総会及びアジア太平洋地理空間フォーラム (APGF) に、国土地理院から飯田地理空間情報部長他 2 名が出席した。UN-GGIM-AP 総会では、各作業部会の活動報告や今後の活動計画についての検討が行われた。また、APGF では飯田部長が地理空間情報技術を用いた日本における防災の取組について基調講演を行ったほか、宮原測地部計画課長の運営のもと測地関連ワークショップが開催された。

11 月 10 日 **令和 5 年度補正予算の政府案が決定**

令和 5 年度補正予算の政府案が閣議で決定され、国土地理院関係の予算案額は、総額 49.7 億円となった。

11 月 11 日 **令和 5 年度大規模津波防災総合訓練に参加**

国土地理院は、令和 5 年度大規模津波防災総合訓練に参加し、地震時地盤災害推計システム (SGDAS) による情報伝達及び測量用航空機「くにかぜⅢ」による実演を行った。展示コーナーでは、国土地理院の防災・減災に向けた取組などについて紹介した。

11 月 13 日 **福井県敦賀市立敦賀南小学校で「地図教室と測量体験」を開催**

北陸地方測量部は、「測量の日」関連行事として敦賀市立敦賀南小学校の 6 年生 36 名を対象に、(一社) 福井県測量設計業協会と協力して「地図教室と測量体験」を実施した。地図教室では、地形図を用いた敦賀市の地形の紹介や小学校周辺の地形図等を表示し、地図記号のクイズ等を交えながら説明を行った。

11 月 15 日 **令和 5 年度地理空間情報の活用に関する愛媛地域連携協議会を開催**

四国地方測量部は、「課題解決に向けた地理空間情報の活用 ～災害対策・業務の効率化・サービスの創出や拡大等～」をテーマに、産 (愛媛県測量設計業協会)、学 (愛媛大学)、官 (松山市) から測量・GIS に関する技術動向や地理空間情報を用いた最近の取組に関する報告をしていただき、活用事例や課題について意見交換を行った。

11 月 19 日 **阿波市防災フェスタ 2023 でパネル展示**

四国地方測量部は、阿波市防災フェスタ 2023 において、自然災害伝承碑や浸水推定図、阿波市のデジタル標高地形図、地理院地図などの展示及び南海トラフを含む四国地方の陰影段彩余色立体図の床展示を行い、阿波市長をはじめ、大勢の方に見学いただいた。

11 月 23 日 ～11 月 26 日 **第 17 回「とやまみんなの地図作品展」展示会を開催**

北陸地方測量部は、とやま地図作品研究会の事務局として、身の回りの環境や地域、地図に対する関心を深めてもらうことを目的に、富山県内の小・中学生を対象として第 17 回「とやまみんなの地図作品展」を開催した。作品展では、応募作品のうち優秀な作品 15 点を展示した。

11 月 28 日 ～12 月 10 日 **「第 24 回いばらき児童生徒地図作品展」を開催**

関東地方測量部は、いばらき児童生徒地図研究会の事務局として、身のまわりの環境や地域、地図に対する関心を深めてもらうことを目的に、茨城県内の小・中学生を対象として「第 24 回いばらき児童生徒地図作品展」を開催した。作品展では、応募作品 532 点のうち優秀な作品 48 点を展示した。

11 月 28 日 **令和 5 年度地理空間情報産学官中国地区連携協議会を開催**

中国地方測量部は、令和 5 年度地理空間情報産学官中国地区連携協議会を Web 開催し、中国地区における地理空間情報の利活用について報告及び意見交換を行った。

11 月 30 日 **令和 6 年測量士・測量士補試験の実施日程等を公表**

令和 6 年測量士・測量士補試験を 5 月 19 日に実施することを公表した。

11月30日 第241回地震予知連絡会を開催

第241回地震予知連絡会を国土地理院関東地方測量部においてWeb会議併用形式にて開催した。全国の地震活動、地殻変動等のモニタリングについての報告が行われ、その後、重点検討課題として「予測実験の試行(09)―地震活動の中期予測の検証」に関する報告・議論が行われた。

11月30日 令和5年度地理空間情報の活用推進に関する北陸地方産学官連絡会議(福井県分科会)

北陸地方測量部は、「令和5年度地理空間情報の活用推進に関する北陸地方産学官連絡会議(福井県分科会)」をWeb形式で開催した。福井県以外の委員で参加を希望される方及び委員以外に福井県内の3つの市からも参加いただいた。委員からは地理空間情報に関する取組・活用事例について講演がされ、講演に対する質疑応答や点群データから平面図を作成する際の工夫、自動運転の方式とビジネスの関連性等について意見交換がされた。

12月3日 第57回ISO/TC211総会に出席～12月8日

インド・ニューデリー及びWeb会議の併用(ハイブリッド形式)で開催された国際標準化機構の地理情報専門委員会(ISO/TC211)第57回総会に、国土地理院から日本代表団として笹川地理情報解析研究室長他2名がオンラインで出席した。

12月4日 国際GNSS事業(IGS)の「解析センター」に認定

国土地理院はJAXAの協力により、GNSS衛星の精密な軌道情報を自律的かつ安定的に算出する体制を構築した。令和5年(2023年)6月から国際GNSS事業(IGS)に軌道情報の提供を開始し、令和5年(2023年)12月、本取組が認められ、国内で初めてIGSの「解析センター」に認定された。

12月5日 第15回地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会を開催

北海道地方測量部は、「第15回地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会」をオンライン形式で開催した。本懇談会では、設置要綱改正の審議と新委員(2名)から話題提供が行われ、意見交換を行った。

12月7日 令和5年度国土交通省国土技術研究会に参加～12月8日

国土交通本省において、令和5年度国土交通省国土技術研究会が開催された。国土地理院から自由課題(一般部門:安全・安心)1課題、自由課題(イノベーション部門)1課題の発表を行った。

12月8日 令和5年度地理空間情報の活用に関する高知地域連携協議会を開催

四国地方測量部は、「課題解決に向けた地理空間情報の活用～災害対策・業務の効率化・サービスの創出や拡大等～」をテーマに、産(高知県測量設計業協会)、学(高知工科大学)、官(高知県)から測量・GISに関する技術動向や地理空間情報を用いた最近の取組に関する報告をしていただき、活用事例や課題について意見交換を行った。

12月21日 令和5年10月1日時点の全国都道府県市区町村別の面積を公表

日本の国土の面積を取りまとめた「令和5年全国都道府県市区町村別面積調」(10月1日時点)を公表した。

12月22日 令和6年度予算の政府案が決定

令和6年度予算の政府案が閣議で決定され、国土地理院関係の予算案額は、総額85.6億円となった。